

川崎市史市制100周年記念版 第5回編集懇談会

議題 1 : 本のデザインの考え方について

2025年7月17日

市民の意見を取りいれて、決定した構成案

confidential

No.	構成案	コンテンツの概要
1	めくってわかる 川崎市の100年	ページをめくって、100年間の川崎の地図を重ね合わせ、 移り変わりを追う
2	かわさき定点観測 -100years-	7区の歴史を「場所ごと」に「写真」で振り返る
3	いつだって、川崎は 【川崎テーマ史】	メインテーマ18篇ごとに、歴史や文化を深掘り テーマ例：多摩川、スポーツ、文化、食、工業、多様性
4	人からわかる、川崎の歴史（仮）	編集懇談会委員の意見を元に7区それぞれから人選予定 人物への取材を通して、背景にある歴史や文化を浮き彫り
5	市民が考えた！ 川崎【激狭】テーマ史	テーマ史より更にミクロに物事の歴史や文化を深掘り 市民ワークショップから川崎らしいアイデアを元を選定
6	地図で感じる 歩きたくなる川崎史	本を持って、まち歩きをしたくなるコンテンツ
7	数字で振り返る 川崎の100年	数字による、川崎の歴史や川崎らしさの提示
8	川崎の年表 ～自分や家族のできごとを書いたのしむ～	テーマ史とリンクさせて通史的に整理する年表コンテンツ 興味のある事項を追える、日本史と並記など工夫を凝らす
9	かわさき市民百景	市民から、市内各所や建物などの写真を募集し、 モザイク画のように1つの絵にする

1 本のデザインの考え方について

デザインに関する主な意見・アイデア

confidential

(1) 編集懇談会（主に第1回～第3回）

ア. 本のテイストや雰囲気について

- ・「川崎ってこんなに楽しいところだ」と、全国の他のまちの方に思ってもらえるようなもの（市民も誇りに）
- ・ターゲット層の、子育て世代（30～40代）や若者世代が親しみをもてるデザインにするべき
- ・街歩きや写真撮影などのアクションにつながるきっかけを提供している、とわかるデザイン

イ. 要素や見せ方について

- ・「目で見て分かる」を重視した方がよい。長い文章はなかなか読まない世代をターゲットにしている。
- ・紙面にキャラクターが登場すると、子どもが興味をもつきっかけにもなる。
- ・「子どもと巡ると楽しい」ような市内のマップ、写真スポットを入れる。花の名所など季節の話題を含める。
- ・市域の変遷や、多摩川流域の地形の変化をぜひビジュアル的に見せてもらいたい。

(2) アンケート（令和6年11月実施）

設問「どんな話題なら楽しい・面白いと思いますか」（自由回答） 本の形式やデザインに関わる意見を抜粋

マンガ（3件）／ 絵本（2件）／ 文字が多くないもの／ 簡単な言葉で若い人も読みやすく／
華やかな写真が豊富／ 昔の写真がいっぱい／ 昔の写真を比較（8件） など

⇒ 意見やアイデアについて、構成案を踏まえながら、本のデザインに反映

1 本のデザインの考え方について

confidential

今回ご説明する本のデザインについて

構成案のNo. 1～6及び8のデザインの考え方を、次ページ以降で説明します。

No.	構成案	コンテンツの概要
1	めくってわかる 川崎市の100年	ページをめくって、100年間の川崎の地図を重ね合わせ、 移り変わりを追う
2	かわさき定点観測 -100years-	7区の歴史を「場所ごと」に「写真」で振り返る
3	いつだって、川崎は。 【川崎テーマ史】	メインテーマ18篇ごとに、歴史や文化を深掘り テーマ例：多摩川、スポーツ、文化、食、工業、多様性
4	人からわかる、川崎の歴史（仮）	編集懇談会委員の意見を元に7区それぞれから人選予定 人物への取材を通して、背景にある歴史や文化を浮き彫り
5	市民が考えた！ 川崎【激狭】テーマ史	テーマ史より更にミクロに物事の歴史や文化を深掘り 市民ワークショップから川崎らしいアイデアを元を選定
6	地図で感じる 歩きたくなる川崎史	本を持って、まち歩きをしたくなるコンテンツ
7	数字で振り返る 川崎の100年	数字による、川崎の歴史や川崎らしさの提示
8	川崎の年表 ～自分や家族のできごとを書いていたのしむ～	テーマ史とリンクさせて通史的に整理する年表コンテンツ 興味のある事項を追える、日本史と並記など工夫を凝らす
9	かわさき市民百景	市民から、市内各所や建物などの写真を募集し、 モザイク画のように1つの絵にする

※No.7及びNo.9
のデザインは、
後日御説明します。

これまでに頂いてきたアイデアやご意見をもとに
決定した構成案・コンセプトに沿って作成した

本のデザインの考え方(P.8~18)について

➤ 対象読者（※）によく合ったデザインになっているでしょうか？

※幅広い世代、特に若者世代・子育て世代、
小学生（高学年以上）が読めるように配慮

➤ 情報を読み取りやすく、川崎の歴史に興味がわくでしょうか？

改善アイデアや、留意すべきポイントをご教示ください！

1 本のデザインの考え方について

No.1 めくってわかる 川崎市の100年

confidential

川崎の変遷が分かるコンテンツは、巻頭に配置します。

一般流通する書籍では、巻頭ページは「見栄えがよくテンポよくページをめくれる」ことで読者を惹きつけています。

今回、市域の変遷というテーマに対して「めくることが楽しくなる仕掛け」を施します。

透明フィルムページを用いて、地図2枚を重ねる。一見すると市域の区分けを示した地図ですが、フィルムページをめくると、異なる情報（この例では当時の鉄道路線図）が現れます。



1 本のデザインの考え方について

No.1 めくってわかる 川崎市の100年 (つづき)

confidential

めくるテンポ重視

イントロは大胆に要素を配置。
めくると市域の大きな変化がわかる。
ページをめくるスピード感を重視する。

昔の川崎市が
こんなに
小さかったって
知ってましたか



今ではこんなに
大きな街に
成長しました



2つの地図が見える

1930年当時の地図。

フィルムページをめくると、
当時の鉄道路線が見えてくる
仕掛けにする。

めくって楽しむ! 川崎市の100年

川崎市は、1924年(大正13年)に11の町村が合併して誕生しました。その後の100年、川崎市は大きく成長しました。この100年を、この本で振り返ります。

1924年(大正13年)～1939年(昭和14年)
川崎市成立から約15年で市域ほとんど拡大

川崎市の歴史を、この本で振り返ります。この100年、川崎市は大きく成長しました。この100年を、この本で振り返ります。



めくって楽しむ! 川崎市の100年

川崎市は、1924年(大正13年)に11の町村が合併して誕生しました。その後の100年、川崎市は大きく成長しました。この100年を、この本で振り返ります。

1924年(大正13年)～1939年(昭和14年)
川崎市成立から約15年で市域ほとんど拡大

川崎市の歴史を、この本で振り返ります。この100年、川崎市は大きく成長しました。この100年を、この本で振り返ります。

すでに鉄道路線は充実!



※同様の見開きが
数パターン続きます

1 本のデザインの考え方について

No.2 かわさきの定点観測 -100years-

confidential

この項目では、**7区**の歴史を、「場所」ごとに、「写真」で振り返ります。（各区で2ページ構成）
地域ごとの特長的なランドマークを、時代ごとの写真（ときには浮世絵）を配置し、変遷をビジュアル的に提示します。



川崎のおおよそどのあたりにあるか、簡単な地図で提示する。

「現在」の写真は、「昔」の写真と同じアングルになるよう、新規で撮影する。
(現状はダミー写真)

1 本のデザインの考え方について

No.3 いつだって、川崎は。【川崎テーマ史】

confidential

この項目は、メインテーマ18篇ごとに、歴史や文化を深掘りします。
各テーマごとに、2ページ又は4ページで構成し、写真や図・絵を豊富に掲載します。

（スポーツ・文化）

いつだって、川崎は音楽が流れている

この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです
○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○

（1900年代）

レコード会社が操業

この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○

（1960年代）

音楽学校の移転

この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○

洗足学園音楽大学

この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○

【洗足学園音楽大学出身の著名人】

- ＊ほろひさし (ホー・ブレイク・マホー・ブレイク) ○ SAPP
- ＊平賀純彦 (ジュンペイ) (ホー・ブレイク・マホー・ブレイク)
- ＊北原真一 (マキハタ) ○ SAPP

（昭和音楽大学）

昭和音楽大学

この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○
この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○この文はダミーです○

【昭和音楽大学・昭和音楽大学出身の著名人】

- ＊小島治江 (サトウ・ハチロー) ○ SAPP
- ＊藤村謙一 (フジキ・ケンイチ) ○ SAPP
- ＊高田繁子 (タカタ・シズ子) ○ SAPP
- ＊高田繁子 (タカタ・シズ子) ○ SAPP

昭和のスター・坂本九 ～11時から世界へ～

1961 (昭和36) 年、NHK『夢であいましょう』で歌った「上を向いて歩こう」が大ヒットしました。アメリカでも「SUKIYAKI」としてリリースされると、『Billboard Hot 100』で日本人初の3連続第1位を獲得します。世界中で愛された音楽の歌姫が、2011年秋に脳卒中で他界されました。

坂本九 Profile

昭和36年11月11日生まれ。東京都出身。『上を向いて歩こう』でデビュー。『上を向いて歩こう』のヒットで、1962年12月、日本コロムビアからデビュー。1963年12月、日本コロムビアからデビュー。

町名の由来

○ SAPP

百舌谷 (ヒヨコガヤ)

昭和36年代表の誕生した「百舌谷」は、昭和36年の「百舌谷」の町名で命名。小田急電鉄の駅名は「百舌谷」ではなく「百舌谷」。

長い文章を続けず、「囲み」を効果的に使用する。
どこからでも、興味をもったところから読み始められる。

各ページの【欄外】に、「地名まめ知識」を掲載
各区から10点選定して掲載する予定

1 本のデザインの考え方について

No.3 いつだって、川崎は。【川崎テーマ史】（つづき）

confidential



テーマごとに「色枠」で囲むとともに、色も変更し、テーマの切り替えに気づいてもらえるようにする。



1 本のデザインの考え方について

No.6 地図で感じる 歩きたくなる川崎史

confidential

この項目は、本をもって街歩きしたくなるコンテンツです。各区ごとに1コース程度取り上げます。
1つ目の見開きでは「散歩案内」として、おすすめコース、現在見ることのできるスポット、花暦などを示します。



現在見ることのできる歴史スポットを簡単に紹介する。

散歩の「目安」を示す。

※現状の道路地図はダミー。
今後、道路名、河川名、橋梁名、交差点名、ランドマークなどを書き込み、より「歩きやすい」「見やすい」道路地図にしてい

1 本のデザインの考え方について

No.6 地図で感じる 歩きたくなる川崎史（つづき）

confidential

2つ目の見開きでは、「歴史」を知ってもらうためのページにします。

このページを読むことで、街歩きがより「学びの深い」ものになる内容を掲載します。



「歴史的事実」などは、長文形式で記載せず、読みやすくする意図で「枠囲み」などにして紹介していく。

現状はダミーを表示しているが、見出しの「歴史的内容」が伝わるスポットを、より広範囲で（徒歩に拘らず）提示していく。

コンテンツには軽重をつける。大きく紹介する話題には、イラストやマンガを添えて、興味を惹かせる。

1 本のデザインの考え方について

No.8 川崎の年表 ～自分や家族のできごとを書いたのしむ～

confidential

この項目は、川崎の歴史を「通史的に（年代を追って）」知ってもらうためのコンテンツです。

【テーマ史】とのリンクを設ける、ビジュアル要素を加える、自分事にできるように書き込み欄を設けるなど、意見やアイデアをデザインに反映しています。

川崎の年表

1964→1972

川崎市のできごと

国内のできごと

自分史と家族史を書こう!
当時、何が流行っていた?

1964年 (昭和39年)

3月 よみうりランドが開園 [多摩区]

12月 元祖ニュータンメン本舗が創業 [川崎区] P.000

1965年 (昭和40年)

3月 城山ダムが完成

4月 木更津との間にカーフェリーが開通 (→1997年12月) [川崎区]

6月 市旗を制定する

第三京浜道路、国道246号線が開通

1966年 (昭和41年)

4月 東急田園都市線 (環の口～長津田)が開通 P.000

12月 京浜急行川崎駅前的高架工事が完成 [川崎区] P.000

1967年 (昭和42年)

4月 日本民家園が開園 [多摩区] P.000

7月 等々力陸上競技場が完成 [中国区] P.000

1968年 (昭和43年)

4月 東名高速道路、厚木～川崎間が開通

7月 首都高速道路横浜線が開通

1972年 (昭和47年)

4月 政令指定都市となり、川崎区・幸区・中原区・高津区・多摩区の5区が誕生

4月 公営監視センターが完成 [川崎区]

6月 フルーツパーク (現在の農業技術支援センター)が開園 [多摩区]

10月 東海道新幹線開業

10月 東京オリンピックが開催

11月 いざなぎ景気 (→1970年7月)

6月 ザ・ビートルズが来日

3月 大阪・北千里駅で日本初の自動改札機が設置

12月 東京・府中市で3億円事件が発生

2月 札幌オリンピックが開催

2月 あさき山荘事件が発生

5月 沖縄が日本に復帰

見出し項目を【テーマ史】の4つのカテゴリーに分け、アイコンで表示することで読者がそのカテゴリーやテーマごとに、歴史的な経緯を追いやすくする。

中面で詳しく説明してる項目は、そのページにリンクを飛ばして、連動性をもたせる。

歴代市長の在任期間を、オビ形式で表示する。

「川崎市のできごと」は画像、「国内のできごと」はイラストとする。
前者は市民に身近に感じてもらえるように、後者は、親しみやすさを感じてもらえるような意図

どの行政区での出来事か分かるように、[]で記載する。
(アイコンでの表示は、他のテーマ史で表示に用いるため、読者が判読しづらくなる)

自分史と、川崎の歴史を比較して「マイ年表」を書き込むためのスペース